

第5回 高校生の交通安全教育検討委員会の概要について

1 要 旨

6月4日（火）、第5回高校生の交通安全教育検討委員会を開催し、高校生の二輪車免許の取得や、交通安全教育に係るアンケートの実施について議論しました。

2 内 容

(1) 日時：令和元年6月4日（火）9：30～11：30

(2) 場所：三重県津庁舎 本館6階 66会議室

(3) 出席者（50音順・敬称略）

- ・飯田 剛 委員 日本自動車工業会 二輪車安全教育分科会 会長
- ・生田 昌弘 委員 日本二輪車普及安全協会中部ブロック 事務局長
- ・伊藤 誠司 委員 三重県警察本部交通企画課 交通安全対策室 室長
(代理 林 憲史 三重県警察本部交通企画課)
- ・江川 真司 委員 三重県交通安全協会 安全対策課 課長
- ・太田 秀典 委員 三重県高等学校PTA連合会 会長
- ・岡田 真由美 委員 三重県PTA連合会 常務理事
- ・櫛田 浩哉 委員 三重県指定自動車教習所協会 会長
- ・高濱 克則 委員 三重県高等学校生徒指導連絡協議会 教諭
- ・平井 真 委員 鈴鹿サーキット交通教育センター 所長
- ・眞崎 俊明 委員 三重県立学校長会 副会長
- ・的場 敏尚 委員 三重県私学協会 理事
- ・山口 直範 委員(委員長) 大阪国際大学 教授
- ・山田 洋一 委員 三重県小中学校長会 副会長

(4) 概要

①本委員会で検討すべき事項及び高校生の二輪車免許取得について

これまでの委員会での検討内容を、高校生の自転車運転に係る交通安全教育、高校生の二輪車運転免許の取得、卒業後に運転者となることを見据えた交通安全教育の3点に整理して資料として提示し、改めて本委員会で検討すべき事項や、高校生の二輪車免許取得について議論しました。

○ 委員からの意見

- ・ 免許取得の機会を交通安全教育の充実を図る場とするのは非常に違和感がある。成年年齢の引き下げに伴って18歳が民法上の成年年齢となるが、道路交通法上は今までも18歳、16歳で免許取得できたので、社会環境がどう変わったというのか理解できない。
- ・ 議論を先に進めるためにも、アンケートを精査して実施していきたい。
- ・ 埼玉県でも高校生の自動二輪車等の交通安全に関する検討委員を務めたが、同じように免許取得の是非が前に出て議論されることがあった。そうではなく、免許の取得を希望する高校生や家庭に許可したら、その子にきちんと安全教育をすることが大切で、今乗っている子にいかに関交通安全教育を届けていくかが大事である。

②アンケート実施についての考え方について

○ 委員からの意見

- ・ 二輪免許取得の是非はともかくとして、子どもの送迎は保護者の負担となっており、全体としてのアンケートの結果と、地域ごとの保護者の実際の意見は異なってくるのではないかと。
- ・ 自校のPTA役員会で意見を聞いたところ、校則で免許取得が禁じられている現状で良いとの意見もあったし、自分で最寄り駅に行ってくれると助かるという意見もあった。
- ・ 高校生や保護者へのアンケートについては、どこが主体となって、学校を通じて依頼するのかなどはきちんと整理して欲しい。伊勢市では、地域や保護者の方の働きかけにより、志摩市の奥からスクールバスを走らせて伊勢市内の全ての学校をまわっている。その中で二輪の免許を取得して通学することで、バスが廃線となることを本当に望むのかとを感じるし、そういった取組をしている地域があることはお知りおき頂きたい。
- ・ 埼玉県の私立学校では、学校独自でスクールバスを走らせているところもあるが、乗車する生徒が減少してスクールバスの運営が非常に厳しくなっている学校もある。公共交通機関が整っているところであれば、通学と免許の取得は別の問題として考えるべきではないか。
- ・ 第4回の検討委員会を傍聴した際、アンケートの実施によって学校現場が混乱するとの意見が出ており、埼玉県でも同様の意見はあったが、アンケートの実施によって現場が混乱することはなかったと聞いている。また、埼玉県では保護者の意見は取らなかったが、ぜひ保護者の意見も踏まえたいという議論を進めていけると良い。
- ・ 生活安全という点から考えて、バス停でバスを降りれば安全なのか、暗い夜道で女子生徒がずっとバス停でバスを待っているのが本当に安全なのかということも考えないといけないのではないかと。

③アンケートの具体的な内容について

○委員からの意見

- ・ 若者の免許離れという現象があり、20歳前に免許取得をする方は、全国的な平均で言えば20%~30%しかない。そういった状況の中、高校生が自動車免許取得にどのような認識を持っているのかは関心があるが、内容はあまり広げず二輪に限定した方が良いのではないかと。
- ・ 交通安全教育に対する質問は、日常生活の中で必要と思う内容が何かということと、免許取得を希望する方を対象とした質問を分けて聞いた方が良いのではないかと。
- ・ 四輪の免許の話をここに入れると非常に難しくなる。埼玉県でも四輪の話は出たが、アンケートでは二輪について聞く中で、「将来四輪の免許を取得するので二輪の免許は必要ない」という趣旨の選択肢を入れるに留めた。
- ・ 実際にアンケートを実施し、生徒や保護者からの質問を受けたりするのは学校なので、本日の各委員の意見を受けて、ぜひ、実施する立場の意見も聞いて欲しい。

3 今後の対応

今回の意見で各委員から出された意見を踏まえ、アンケートの実施に向け、準備を

進めてまいります。

第6回検討委員会では、アンケート結果を踏まえて議論を進めていく予定です。